

今、気になるコト

その②

インフル エンザの 大流行

統計開始以来最も多い患者数

この年末年始は、インフルエンザが大流行し、高熱で寝込んだ人も多かったのではないのでしょうか。こじらせて肺炎になった人も少なくないそうです。昨年未までに全国の医療機関から報告されたインフルエンザの患者数は1医療機関あたり64.39人で、現在の方法で統計を取り始めた1999年以降、最も多くなりました。43の都道府県で「警報レベル」の30人を超えました。

インフルエンザ 患者数 (1医療機関あたり)



【何が問題なの？】

コロナワクチンで下げられた免疫力

これほどまでに感染者が増えた原因について考えてみましょう。インフルエンザもコロナも原因はワクチン接種と言われています。残念ながら日本では自民党政府による報道規制が敷かれており、テレビ等ではほとんど知らされていませんが、すでに海外ではニュース報道もされていて、多くの検証論文も出ています。ワクチンで免疫力が低下し、風邪をひいただけで症状が酷くなるのはそのせいだと考える医療関係者も少なくありません。

名古屋大学名誉教授の小島勢二先生が書かれた2023年8月9日の記事より、ワクチン接種開始とコロナ感染、死者数と超過死亡数のグラフが分かりやすいので引用させていただきます。

ワクチンを接種するとコロナが流行し、その結果、コロナ死者数が増加し、超過死亡が生じています。

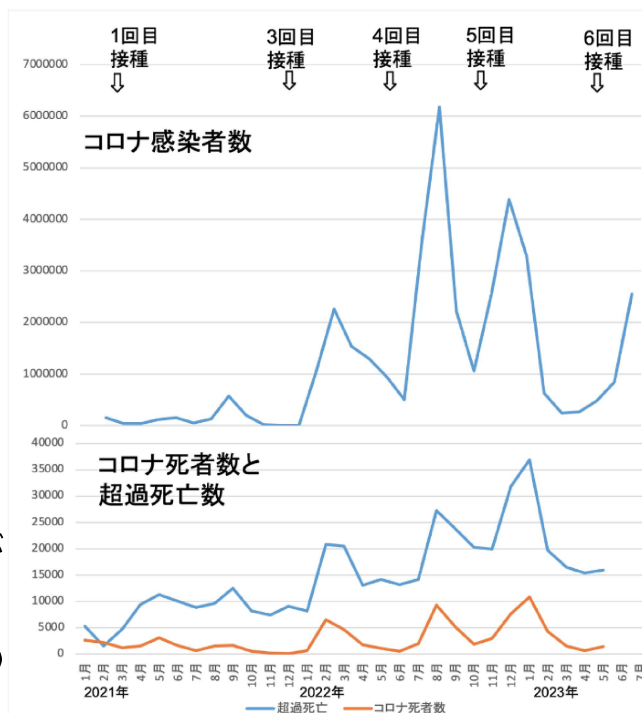
超過死亡にはコロナ死も含まれますが、毎回コロナ死だけでは説明のつかない死亡数の増加が見られ、超過死亡を押し上げています。

インフルエンザワクチンは大丈夫？

このグラフを素直に見ると、コロナワクチンは効果がなかったどころか死亡数増加の原因になっているように見えませんか？同様にインフルエンザワクチンの効果にも疑問が浮上しています。今年の流行株とワクチンの型が一部一致せず、予防効果が限定的だったとの報告も。ワクチン接種による免疫力低下で感染するケースが増えているのでは、と不安が広がっています。

【私たちはどうすればいいの？】

この危機を受け、ワクチンの安全性や効果を再検証する動きが加速。コロナとインフルエンザワクチンの長期影響を調べる研究が始まり、市民団体からは情報公開を求める声もあがっています。自分の健康を守るため、事実を知ることが今こそ大切です。政府から比較的に情報規制を受けていないSNS(Xやテレグラム)で正しい情報を探すことをおすすめします。



牧義夫衆議院議員(愛知4区 ゆうこく連合 東海ブロック長)

このまま、今の与党政府の言いなりになっていると市民の暮らしはどんどん苦しく不安になるばかり。私は市民の皆さんが声を上げるために立ち上げた有志の国民グループ「ゆうこく連合」を応援しています。

●「ゆうこく連合」ってなに？

原一博衆議院議員(佐賀1区)が掲げる3つの政策理念(日本独立・日本再興・日本救世)に賛同し結集した有志の国民グループです。ゆうこく連合政策理念に賛同する議員を党派を超えて支援し政治の汚職を正し、日本の未来が明るく光のさす方へ向かうことを目指します。

●活動日誌(ゆうこく連合愛知)

2024年8月	SNS【X】上に衆議院全289選挙区にゆうこく連合支部を創設
9月	WHOから命をまもる国民運動パレードに参加
10月	第50回衆議院選挙(政策理念賛同候補者への選挙活動支援ボランティア)
12月	ゆうこく連合支援議員懇談会 第1回準備会・交流勉強会開催(@衆議院第一議員会館)



原一博議員
YouTube



ゆうこく連合愛知
LINE OPEN CHAT

●ゆうこく連合愛知への参加方法: 右のQRコードよりLINEのオープンチャットへご参加ください